

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき 活動報告書
平成 25 年度(2013 年度) (平成 25 年 4 月 1 日より平成 26 年 3 月 31 日まで)

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 4 月～3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従 事 者 14 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 23,994,825 円

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

余暇支援ネットワーク

内 容 福祉的な余暇活動を支援するネットワークに参加して一般市民との橋渡しを行った。
日 時 10 月 19 日
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従 事 者 2 名
受益対象者 福祉関係者及び市民
支 出 額 10,000 円

3. 社会貢献活動を行なう個人および団体相互の交流事業

実施しなかった。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

実施しなかった。

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援事業

内 容 地域課題をビジネス手法で解決するコミュニティビジネスの情報を収集した。
日 時 4 月～3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター、市内のコミュニティカフェ他
従 事 者 6 名
受益対象者 コミュニティカフェに関心のある個人および一般市民
支 出 額 22,728 円

(2) ハーモニー発行

内 容 積年の課題であった会員向け情報紙「ハーモニー」を隔月に発行した。
日 時 偶数月
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従 事 者 2 名
受益対象者 市民活動に関心のある個人

支 出 額 12,738 円

(3) みらくる～13歳からのボランティアハンドブック～(平成25年度茅ヶ崎市げんき基金補助金事業)
内 容 若い世代の社会参加の第一歩としてボランティア活動につなげる冊子を発行し、市内
中学生6,000名ほか、高校生、大学生等に配布した。

日 時 4月～3月・通年

場 所 茅ヶ崎市内の中学校、高校、大学他

従 事 者 2名

受益対象者 市内の中学生、高校生、大学生および教育関係者

支 出 額 822,471 円

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 茅ヶ崎市新しい公共円卓会議

内 容 「新しい公共円卓会議設立及び事務局運営事業」として、円卓会議等を実施し、我孫子市を
視察・訪問した。

日 時 4月～3月、円卓会議4回、提案型民営化制度意見交換会2回

場 所 茅ヶ崎市役所他

従 事 者 6名

受益対象者 新しい公共に関心がある市民・企業・行政

支 出 額 1,039,678 円

(2) 企業とNPOのマッチング事業

内 容 平成25年度茅ヶ崎市協働推進事業「企業とNPOの協働に向けた出会いと交流の場づくり事
業」として、企業とNPOと行政の交流サロン、企業とNPOと行政のマッチングフォーラムを開
催し、NPOとの協働に関心が高い企業への面談調査を実施した。

日 時 4月～3月、サロン2回、フォーラム1回、企業訪問延べ60回

場 所 茅ヶ崎商工会議所、茅ヶ崎市役所、市内企業他

従 事 者 7名

受益対象者 市内企業、NPO、大学、行政及び企業との協働に関心がある市民

支 出 額 1,521,017 円

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

なお、事業1の詳細は別紙1、事業2～7までの詳細は、別紙2に添付する。

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業・報告書

平成 25 年(2014 年)4 月 1 日より平成 26 年(2014 年)3 月 31 日まで

総括

指定管理者 3 期目のミッションは、情報発信および連携・協働の拠点として、NPO のエンパワーメント(内なる力を引き出す)、行政や企業等とのパートナーシップ、NPO と多様なセクターとのネットワークづくりを掲げた。ワイワイまつりでは多様なセクター間で顔の見える関係づくりが進み、新たな支え合いのエネルギーを実感できた。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカー使用の承認、取消し等に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

56 団体(大:10 団体 小:46 団体)

(2)視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

10 月 8 日(火)	福祉相談室との連携に向けたヒアリング	市内福祉相談室、茅ヶ崎市保健福祉課	8 名
1 月 22 日(水)	市民立太陽光発電所れんこちゃん 1 号見学	尼崎市市議会議員	6 名
1 月 27 日(月)	センター運営・事業についての情報交換	さがみはら市民活動サポートセンター	11 名
2 月 5 日(水)	茅ヶ崎市民活動サポートセンターの概要・実施事業に関する視察研修、情報交換	あいかわ町民活動サポートセンター運営委員会、愛川町役場行政総務課	13 名

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民から市民活動団体、市民活動団体同士の寄付・備品貸借を始め、イベントの申込等を仲介した。319 件。

・復興支援物資 南三陸戸倉地区へお餅の仲介(12 月 7 日～12 月 15 日)

Team Aid for Japan(TAJ)～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティアの活動支援で、センターにて物資を仲介した。

2. 市民活動の支援及び市民活動推進のための効果的な事業等の企画に関する業務

(1)市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

ア. 市民活動に関する図書の選定、購入及び管理

・在庫整理をして、ボランティアや NPO の運営などニーズに即した図書を充実。ホームページに掲載することで利用者が読みたい本を絞り込み貸出の利便性を向上。

・新書では災害・防災・情報の本が増えた。

・定期購読(NPO マネジメント・ウォロ・たあとる通信・ビッグイシュー)

イ. 市民活動団体、関係機関が発行する機関紙等、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

・市民活動団体の「イベント情報」、「広報誌・機関紙」、「会員・ボランティア募集」をコーナーごとに見やすく、わかりやすく掲示。

・助成金、市民公募やパブリックコメント、県内公共施設のチラシなど、情報収集・提供。

ウ. サポートセンター情報紙の発行(年 3 回以上)およびホームページへの掲載

- ・「さぽせんニューズレター」秋号(10/15)・冬号(3/1)・春号(3/31) 各号 2,000 部を発行。
- ・委任事業の報告および開催告知など、年間の実施事業や統計情報を網羅した内容を掲載。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布。

エ. 市民活動団体データベースの作成・管理およびそれを基としたガイドブックの編集・発行、ホームページへの情報掲載

- ・データベース登録団体に対して掲載内容および個人情報公開の可否を確認し毎年発行。
- ・年間を通じて団体情報が変更になった場合は即時に修正し、更新。また新規申込があった場合、データベースの作成、随時ホームページにアップロード。
- ・同掲載団体より毎月 1～2 団体を広報ちがさき「市民の活動だより」に随時紹介。

オ. 情報コーナーの管理(各団体のチラシ、ポスター等の掲示物の受付管理等)

- ・分野別に館内掲示。市民活動団体ごとの活動及び他市の情報紙等のメモリーファイルも含め (201 件)にも活動履歴を紹介。
 - ・月次、WEB 版市民活動団体イベント一覧とカレンダー表示を随時更新。
 - ・データベース登録団体にニューズレターやイベント案内などを郵送・メール・FAXにて情報提供 76 件。
- 市民活動団体より受け付けたチラシ・ポスターの内訳

イベント・講座 セミナー	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
924	590	130	37	167	126	1974 (前年比 92 %)

カ. サポートセンターホームページの維持管理

- ・Web が HTML5 の仕様により html やcssの記述の変更をし、対応した。
- ・ガイドブック WEB 版の更新、修正追加、新規登録を行い対応した。
- ・HP 改ざん防止、監視、事後対策などのセキュリティ対策をした。
- ・センターの貸出し備品をホームページに掲載し、利用者が詳細確認・申込みが可能になった。
- ・Blogn(ブログ)を使用して、センター事業の募集・報告、イベントや助成金、ボランティア情報をタイムリーにアップした。
- ・年間アクセス数:69,283 件(前年比 142%)
- ・スタッフが Twitter でセンターの最新情報を告知した。2014 年 4 月 30 日現在、フォロワー数 181 名(団体)

(2) 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

ア. 相談(92 件)

今年度より、毎月 2 回、事務局長による特別相談日を設けて対応した。

- 1) 市民活動団体、NPO 法人からは、団体の運営や活動内容について、活動をさらに発展させるための助成申請(げんき基金など)について、アドバイスを求める相談が多かった。
- 2) 自社事業拡大のために市民活動団体との連携を模索する企業や、防災訓練において(「イザ!カエルキャラ

バン！」実施など)市民活動団体の協力を期待する自治会など、市民活動との積極的なつながりを視野に入れた動きが見られたのも今年度の特徴。

- 3) 個人からの相談では、自分の持っているスキルでボランティアや既存の市民活動団体への支援をしたい、また団体(NPO 法人)を立ち上げたい、という内容に加え、30～40代が生きづらさを訴え駆け込んでくるケースも目立ち、キャリア支援につなげた。

相談の内容

施設の 利用	サポセン 主催事業	協働 事業	ボラン ティア	各種 助成制度	NPO 法 人	団体の 運営	企業の 社会貢献	その他
1	8	2	21	7	5	22	6	20

相談者の内訳

個人	市民団体 (自治会含む)	NPO 法人	福祉施設	学校	企業	行政・機関団体
27	32	9	3	4	13	4

(3) 市民活動推進のための事業の実施及び市民活動団体、市民、事業者、行政との連携推進に関する業務

ア. 市民活動推進のための講演会、講座等の実施(年3回以上)

1) NPO 講座の実施

市民活動団体にとって実践的な内容で、組織運営に役立つ知識やスキルを学ぶことができた。

開催日	概要	参加人数
11月10日(日)	<p>活動の魅力伝える広報のコツ講座～団体力を再発見！</p> <p>「もっとたくさんの人に自分たちの活動を知ってほしい」「思わず手に取りたくなるチラシが作りたい」という個人・団体が、企画の練り方からタイトルのつけ方、言葉遣い、デザインなど、チラシづくりの極意を学んだ。</p> <p>講師:坂田 静香氏(NPO法人男女共同参画おおた理事長)</p> <p>場所:ひらつか市民活動センター</p> <p>共催:ひらつか市民活動センター</p>	41名
1月18日(土)	<p>情報セキュリティの達人に学ぶ！楽しく安全に PC とインターネットを活用するポイント</p> <p>パソコンの安全や利用方法や危険性について楽しみながら知識を身につけることができるすごろくゲーム「セキュろく」、安全な「パスワードづくり」など。</p> <p>講師:会田 和弘氏(認定 NPO 法人イーパーツ常務理事・事務局長)</p>	30名

2) よるカフェの実施

よる＝夜～寄り～縁～ 出会い、つながり、生まれる・・・はじまりのきっかけは、よるカフェ。

夜間の利用促進と、これから何か始めたい人たちが出会い交流し、活動のきっかけづくりとしてもらうことを目的に、年4回、サポートセンターにて開催した。団体にも企画をよびかけ、第4回を団体との共催で実施した。

ひとつの共通テーマを軸に、普段接する機会が少ない世代間の交流や、同じ課題を抱える団体間の新たなネットワークづくりにつながった。

開催日	概要	参加人数
-----	----	------

8月23日(金)	第1回 テーマ「切手」～新たな扉をひらく交流会～ 切手寄贈プログラム「さぼちゃんポスト」に寄せられた切手の鑑賞、切手をもっと知るクイズなど。 協力:ほかココロ	24名
10月25日(金)	第2回 テーマ「スマホ」～“市民活動”と“出会い”をひろげる交流会～ スマホでできることや便利アプリ、SNS を利用したコミュニケーションの広がりや楽しみ方について。 協力:ほかココロ ゲスト:内野義生氏(地震津波防災警報スイッチオン!プロジェクト)	29名
12月20日(金)	第3回 テーマ「寄付」～使わなくなった宝物がもう一度輝く方法～ 押入れの奥で眠っている使わないけれど捨てられないものの活かし方、いろいろな寄付のかたちなど。協力:ほかココロ ゲスト:山本高大氏(NPO 法人セカンドブックアーチ)、重田英美子氏(NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき)、菊池恵子氏(サポートYOU)	24名
2月21日(金)	第4回 テーマ「マンション防災」～現代タテ長屋組の防災対策 おたくのマンションどうしてる?～ 戸建てとは異なる防災対策についてのワークショップ、情報交換、非常食の試食。 共催:ちがさき駅前ひろば	24名

イ. 市民活動フォーラム(市民活動のPR及び団体交流のためのイベント)の実施(年1回以上)

ちがさきサポセン☆ワイワイまつり2014の企画・実施

茅ヶ崎をより良いまちにしようと活動する人たち同士が、①市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え、②互いの活動を知り、交流を深め、③力を合わせてまちづくりに取り組むきっかけにすることを目的に開催。

今回より初めて、①中央公園を全面的に使用し、②市民活動団体とともに自治会・企業・行政も参加して日々の活動をPRした。また、のべ74名のボランティアの方々と運営を行い、参加・協力団体数88、来場者数5,000名となり、過去最大規模になった。参加者からは「NPOのことを知らない人たちが自然と市民活動の楽しさや理念を学べるイベントでよかった」などの声が多数寄せられた。

開催日	概要	参加人数
3月8日(土)	テーマ:「大集合! 幸せつむぐ彩りたち」 内容: 模擬店、物品販売、体験、ステージ、防災減災特設ゾーン、スタンプラリー、さぼちゃんポスト寄贈式ほか 会場: 茅ヶ崎中央公園	来場者 約5,000名 参加・協力 88団体

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関すること

近隣支援センターとの連携や情報交換も日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月25日(木)	平成24年度大和市市民活動推進補助金実績報告会	1名
5月18日(土)	アリスセンター25周年記念会合	1名
6月1日(土)	大和市市民活動推進補助金公開選考会	1名
6月11日(火)	協働コーディネーター養成講座	1名

7月6日(土)	第2回市民社会研究会(文教大学大学院主催)	1名
7月18日(木)	企業とNPOのパートナーシップミーティング in 横須賀	1名
8月9日(金)	企業とNPOのパートナーシップミーティング in 平塚	1名
9月2日(月)	企業とNPOのパートナーシップミーティング Vo.2	1名
10月10日(日)	活動の魅力を伝える広報のコツ講座～団体力を再発見	3名
11月24日(日)	神奈川県ボランティア団体成長支援事業・基本研修	2名
12月7日(土)	地域コーディネーター養成講座	1名
1月13日(月)	神奈川県ボランティア団体成長支援事業・基本研修	2名
1月19日(日)	神奈川県ボランティア団体成長支援事業・基本研修	2名
3月15日(土)	平成26年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンテーション	1名

エ. NPO等と行政の協働に向けた意見交換会の実施

NPO等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄り、協働推進事業実施への可能性や、協力し合うことができる接点を探る話し合いの場。

テーマごとにNPO法人NPOサポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】NPO・企業等:13団体 市担当課:のべ28団体 ★成案化:4件

開催日	テーマ	NPO等	行政
7月23日(火)	景観づくりやあらたな景観資源の発見と理解に役立つツールの活用について他	富士ゼロックス神奈川(株) まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	企画経営課、産業振興課 景観みどり課
8月3日(土)	大震災発生時の減災を目的に、自助でできる家庭の地震対策の講演会を行うこと他	認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット 地震津波防災警報スイッチオン!PJ	防災対策課、市民自治推進課、秘書広報課
8月7日(水)	茅ヶ崎海岸のみどりの保護・保全・復元	NPO法人ゆい	景観みどり課、農業水産課 環境政策課
	「市民が病院を選ぶ際の手がかり」についての現状他	(株)湘南新聞販売	保健福祉課、病院総務課 情報推進課
	辻堂周辺地域の振興・発展に寄与するために必要な店舗単位での広域連携他	辻堂LOVERS	産業振興課
8月20日(火)	給食残渣を活用した食資源循環の環境学習	NPO法人湘南フードリサイクル	資源循環課、学校教育指導課、環境政策課、学務課
	NPOと企業の協働に向けた交流の場づくりII	NPO法人NPOサポートちがさき	産業振興課、企画経営課 市民自治推進課
	0歳児を持つ母親が、赤ちゃんを安心して育てるためには、どのようなサ	子育て支援サークル チーム・ミモザ	子育て支援課 こども育成相談課

ポータルが望ましいか		
大規模災害のトリアージ以降の医療・避難生活管理の効率化を促進する医療個人情報 QR カード使用案レポート	湘南子どもフォーラム懇談会(SCF)「わーく」編集部	高齢福祉介護課、障害福祉課、防災対策課
茅ヶ崎市内在住の東日本大震災被災者の方々の現状について	NPO 法人青少年サポート協会	市民相談課
障害のある人たちの“働く・仕事”を考える	NPO 法人ぶれいす	障害福祉課、雇用労働課

オ. 協働推進事業及び市民活動げんき基金助成事業に関する諸手続きにおける市民活動団体への支援

協働推進事業・市民活動げんき基金(共通)

事業実施または実施予定の市民活動団体の相談(申請書の書き方、プレゼンテーションの方法、事業の進め方等)に対応し、アドバイスした。また実施団体募集チラシを市民活動データベース登録約 300 団体に送付して情報提供した他、下記のイベントに参加し、相談対応に役立てるための情報収集に取り組んだ。

開催日	概要
6月2日(日)	平成 24 年度実施 市民活動げんき基金助成事業・協働推進事業実施報告会 場所: 茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール
10月27日(日)	平成 26 年度実施 協働推進事業公開プレゼンテーション 場所: 茅ヶ崎地区コミュニティセンター3 階大会議室
3月15日(土)	平成 26 年度助成事業選考のための市民活動げんき基金公開プレゼンテーション 場所: 茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

協働推進事業

事業実施または実施予定の市民活動団体を支援するため、下記のイベントを市と連携して取り組んだ。

開催日	概要
6月8日(土)、 11日(金)	公募説明会 場所: 茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

市民活動げんき基金助成事業

事業実施または実施予定の市民活動団体を支援するため、下記のイベントを市と連携して取り組んだ。

これにより、①市民活動団体の相談に対応できる機会が増加し、②助成事業について企画段階から情報共有できるようになり、③事業の実施・報告、その後の展開において、アドバイスしやすい関係を築くことができた。

開催日	概要	参加団体
4月24日(水)、 25日(木)、26日 (金)、30日(火)	進め方説明会 事業を円滑に進めるための説明会を実施。 場所: ちがさき市民活動サポートセンター	10 団体
1月29日(水)、 2月1日(土)	伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、	15 団体

	公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	
平成 26 年 3 月 25 日(火)、 31 日(月)	伝わる！報告書作成会 事業終了後に提出する実績報告書の作成方法について説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	5 団体

カ. 市民活動団体・市民・事業者・行政の連携支援

1) イザ！カエルキャラバン！の後方支援

小さな子どもから参加でき、防災・減災・救助について楽しく学び、家族連れでにぎわう新しい形の防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を実施するためのノウハウを伝授した。開催までに各地で 2 回の事前説明会を開き、阪神淡路大震災の教訓をもとにカエルキャラバンのプログラムが作られた経緯や、当日の役割分担、プログラムの実習を行った。また、カエルグッズの貸与・貸出を行って、防災の「知恵」や「技」を身につけ、地域の防災力のアップにつなげる支援を行うことができた。初の試みが湘南地区自治会連合会で開催できたことやタウン誌にも紹介されたことが功を奏し、新たな防災訓練のプログラムとして注目されている。

開催日	概要	参加人数
10 月 6 日(日)	湘南地区自治会連合会防災訓練で「イザ！カエルキャラバン！」実施 場所:柳島小学校	300 名
10 月 20 日(日)	湘北地区自治会連合会防災訓練に参加協力 場所:香川小学校	389 名
11 月 17 日(日)	浜竹一丁目自主防災会防災訓練で「イザ！カエルキャラバン！」実施 場所:浜竹一丁目自治会館	40 名
11 月 23 日(土)	香川推進協子ども大会「ドキドキ ワクワク遊び de 防災みんなでチャレンジ！」に協力 場所:香川小学校	160 名

3 月のさぼせんワイワイまつりの「防災減災特設ゾーン」では、カエルキャラバンを開催した自治会等から 20 名のボランティア協力を得て、多くの市民に体験型の防災プログラムを提供することができた。

2) 研修受入・主な講師派遣

・主な研修の受入

10 月 24～30 日	NPO活動体験派遣研修(5 日間)	かながわ県民センター職員	1名
12 月 9～21 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(10 日間)	茅ヶ崎市役所職員課職員	1名
1 月 7～20 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(10 日間)	茅ヶ崎市役所農業水産課職員	1名
1 月 16～28 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(10 日間)	茅ヶ崎市役所消防総務課職員	1名

・主な講師派遣

4 月 9 日(月)	新採用職員研修講座	茅ヶ崎市役所職員	32 名
6 月 20 日(木)	ボランティア大学講座「市民活動分野について」(茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎市社会福祉協議会共催)	福祉領域のボランティア活動 初心者	60 名
10 月 11 日(金)	松林公民館 子育て講座 「自分らしさを大	未就園児の母親	延べ

10月18日(金)	切に ～ママを楽しむ 出会いの子育て～		20名
12月5日(木)	ちがさき健康づくり講座「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 第15期生	22名
12月9日(月)	中央大学文学部 社会教育概論Ⅱ 「NPOがつくる新しい公共と学び」	中央大学学生	80名

(4) 市民活動団体の育成に関する業務

ア. 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいまでを対象にボランティア活動への理解を深め、新たな参加者を発掘するために(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催している。体験先として、高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、芸術文化、動物愛護、海外支援にかかわる19団体が受入れた。ボランティア体験から社会の一員としての意識とその成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育む活動にもなっている。

開催日	概要	参加人数
7月19日、21日	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室	78名
7月23日～26日	個別オリエンテーション	7名
7月23日～9月13日	ボランティア体験期間(2日以上)の体験	80名
8月27日	カフェ de ボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	50名

イ. 「地域ボランティアエアポート」

高校生のボランティア活動を支援する拠点として周知され夏休み以外の受入も仲介。茅ヶ崎高校ボランティア同好会については、継続的にサポート。また、鶴嶺高校生ほか希望者に個別に、東北復興支援のバスパックなど、ボランティア活動の仲介を行った。

開催日	概要	参加人数
6月13日(木)	地域貢献活動・ボランティア活動説明会(総合教育センター善行庁舎) 全県立高校の教諭10地区18施設ボランティアエアポート担当者との交流	2名
2月26日(水)	地域ボランティアエアポート連絡会(神奈川生涯学習情報センター研修室)。各地域ボランティアエアポートにおける高校生への支援の状況ほか	1名
毎月第3火曜	茅ヶ崎高校ボランティア同好会校外活動としてボランティア受入	2名
随時	団体・施設と高校生のボランティア仲介	

ウ. 総合的な学習の支援

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で中高生にできるボランティアを知る。活動団体の生の声を聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
11月22日(金)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1年生の授業(講師派遣)。 ①全体学習(同校体育館)。1年のボランティア塾から発展して被災地ボランティアを行った現3年生21名の声と写真をまとめたDVD上映後、センター長による講義。	360名

	②生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。(同校各教室等) (市民活動団体 14 団体)	
1 月 10 日(金)	「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトのルダシングワ真美夫妻によるボランティア講演会」鶴嶺高校 1 年生対象 日程の関係でボランティア塾には不参加となったが、サポートセンターの仲介により実現。	360 名
2 月 20 日(木)	松林中学校 3 年生の授業「ボランティア講演会」(講師派遣) おばんばやしの朗読ほか、NPO 法人一心一加藤壮章氏のおそうじパフォーマンス・体験談、センター長によるボランティアについてのお話。 (同校体育館)	189 名
3 月 20 日(木)	松林中学校 1 年生の授業「ボランティア講演会」(講師派遣)。 ロールプレイ、NPO 法人一心一加藤壮章氏のおそうじパフォーマンス・体験談。鶴嶺高校 3 年生と文教大生被災地ボランティア紹介。センター長によるボランティアについて講義。(同校体育館)	228 名

エ. かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム

市民活動団体の組織基盤強化・情報発信力UPに向けて、認定NPO法人イーパーツご協力の下、企業提供のリユースPCを寄贈。藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬のNPO支援センターが連携・協力して合計2回実施した。

また、各地域の申請団体のPC活用方法や必要性などをヒアリング・共有することにより、神奈川県内における活動状況やニーズの把握、中間支援組織同士のつながりをつくる機会となっている。

さらに寄贈式では、セキュログ(パソコンの安全な利用方法や危険性について楽しみながら知識を身につけることができるすごろくゲーム)による情報セキュリティ講習会も実施。市民活動団体の情報化支援と交流の促進につながっている。

開催日	概要	寄贈団体数
8 月 27 日(火)	第 8 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会 県内合計 30 団体に寄贈・参加。場所:藤沢市市民活動推進センター 市内寄贈団体:アンドーバンド、茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会 NPO 法人あいむ湘南、NPO 法人ウエルフェアポート湘南	4 団体 (茅ヶ崎)
3 月 9 日(日)	第 9 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会 県内合計 25 団体に寄贈・参加。場所:ひらつか市民活動センター 市内寄贈団体:NPO 法人パーソナルサポートセンター・トムトム 茅ヶ崎録音奉仕会、NPO 法人フューチャー ちがぼ～(茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会)	4 団体 (茅ヶ崎)

オ. さぼちゃんポスト(切手寄贈プログラム)

家庭に眠っている未使用切手の寄付を受け、地域のNPOなどに仲介・提供することでNPOの情報発信力を高め、地域を元気にするしくみを昨年のワイワイまつりにスタートした。2013 年度は延べ 31 名、6500 枚、280,000 円分の寄付があった。持続可能なしくみにするために、130,000 円分を次年度に繰り越す。寄贈団体からは、団体の活動通信を発送するときに役立ったと感謝のことばが寄せられた。

開催日	概要	寄贈団体数
2月13日(木)	審査会:審査員5名、事務局2名にて開催 場所:サポセンター	
3月8日(土)	寄贈式:150,000円分を寄贈 場所:茅ヶ崎中央公園(ワイワイまつり) ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、柳谷の自然に学ぶ会、 茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会、NPO法人ウェルフェアポート湘南、 つなぎの会 茅ヶ崎、NPO法人 paw pads、湘南あゆみの会、 NPO法人 WE21 ジャパンちがさき、茅ヶ崎良い映画を観る会、 おばんばやし、NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン	11 団体

カ. NPO サポーターズ制度

NPOのスキルアップやサポートセンターの運営を支えるプロボノ的ボランティア「さぼせんサポーターズ」の登録制度は2013年度より「NPOサポーターズ」に改称。広くNPOの会計・労務・情報発信などを支援することが期待されたが、コーディネイト機能が整わず、活躍の場を提供するまでに至らなかった。

NPO法人コネット湘南からの申し出により、9月より第1・第3火曜日、サポートセンター内に「パソコンなんでも相談」が開設された。Win.XPのサポート終了に関する対応やハード面での修理などサポートセンター利用者のパソコンに関する諸問題の相談に応じた。7か月間で延べ13名が利用し親切で丁寧な対応が喜ばれた。

3. 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務

- ・四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)のパワーコンディショナーの電線抑えカバーの外れを改善した。
- ・想定外の気象変化(強風や大雪)により、看板や雨樋に破損が生じたが適切な修繕により現状・回復した。

(1) 花壇整備

花壇ボランティア(NPO サポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。夏には建物西側の窓を覆うようにゴーヤのカーテンを育て、利用者と分かち合うゴーヤ収穫の喜びを「ゴーヤ募金」に寄付した。

(2) 環境への取り組み

- ・キャンピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。
- ・飲食を伴う大規模なイベント(ワイワイまつり)ではエコトレイを推奨するなどゴミの削減を図った。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、毎月初めに電力量を計測し、NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークに報告を行った。
- ・放射線測定器の貸出実績2件

(3) C-ブックによる地域資源の活用ならびに社会貢献活動の推進

ガイドブックデータベース登録団体に対して、ちがさき地域通貨 C-リングの循環による社会貢献活動の推進をめざした貸スペース「ハスキーズギャラリー」の使用を仲介。(使用料の半額を充当) 貸出実績2件

(4) サポセン内の珈琲販売コーナー「ほか・ぽか」閉店

2012年4月、障がいのある人の社会参加と自主作品の販売を支援するために、サポートセンター内に珈琲販売コーナー設置の準備が進められ同年11月から販売が開始された。運営にあたってきたのは、地域サポーター「ほかココロ」。障がいのある人と接しながら、コーヒー・クッキーの支援販売ってきたが継続が困難になり、惜しまれながら2014年3月30日をもって閉店することになった。

以上

平成 25 年(2014 年)4 月 1 日より平成 26 年(2014 年)3 月 31 日まで

事業 2～6 の総括

NPO が企業や行政など他セクターとの連携や協働の絆を深めて「新しい公共」の担い手となるために、様々な出会いと交流により顔の見える関係づくりができた。また、未来世代への期待をこめた事業にも取り組み、委任事業依存から次のステージへの転機となる年であった。

2. 社会貢献活動に関する相談・助言事業

余暇支援ネットワーク [余暇支援ネットワーク PJ]

茅ヶ崎市社会福祉協議会が事務局となり、障がい児・者の余暇支援の情報交換を行った。

障がい児地域生活支援者連絡会への参加、余暇支援ネットワーク会議への参加。

10 月 19 日(土)「キラキラちゃんぶる音楽祭」開催 (当法人が協賛)

3. 社会貢献活動を行う個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかったが、企業と NPO のマッチング事業のなかで相互の交流を図ることができた。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

今年度は実施しなかった。

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援プロジェクト [コミュニティビジネス PJ]

情報の収集と発信「茅ヶ崎らしい事例を市民に広めていく」を目標に以下の活動を行った。

ア. PJ メンバー、会員の仲介の協力を得て、CB 起業家として活躍している現場に直接訪問し、ヒアリングを実施。起業のきっかけ、事業内容、将来の展望など見聞した。

イ. 事例の紹介は訪問記として「NPO サポートちがさき」の HP ブログにて随時発信。10 件の目標を達成。

ウ. まとめとして B4(表・裏)で、事業所の紹介パンフレット「市民のアイデア、こだわり、熱意によって生まれたコミュニティビジネス」を発行(1000 部)。

ちがさきサポセンワイワイまつりにて配布した。助成金を活用し冊子を発行する予定でしたが力不足で採択には至らなかった。

エ. コミュニティビジネス事業所の事例研究(10 件)

「地域性」「事業性」「将来性」「現状課題」について調査、分析。

オ. 相模原市主催の起業講座に参加(全 3 回連続講座)

総括:

10 人の起業家と話しをする機会に恵まれ、貴重な時間を得ることができた。全員の方が「アイデア」、「こだわり」、「熱意」を持って臨んでいると感じ、すでに起業家同士ネットワークを持って活動されていることもわかった。ワイワイまつりにも参加して PR する絶好のチャンスを持てたことはとても有意義だった。お互い顔の見える関係、少なからず信頼関係が得られたことは、今後の事業活動をよりスムーズに進めることが出来るものと確信している。

(2) みらくる～13 歳から学ぶボランティアハンドブック～ [みらくる PJ]

「みらくる～13歳からのボランティアハンドブック～」(平成25年度茅ヶ崎市げんき基金助成事業)
若い世代を社会参加への第一歩としてのボランティア活動につなげることを目的とし、冊子を発行、市内中学生約6000名ほか、高校生・大学生等に配布した。

- ア. 掲載内容は、茅ヶ崎のNPOで活動する9名のインタビュー記事、ボランティアの心得・アイディア集、自分にできることを発見するワークシート、NPOマメ知識など。その中から、「自分にできること発見！ワークシート」「イマドキ！のボランティア男子☆女子」「みらくる検定」を法人ホームページに公開し、より多くの人に活用してもらえるようにした。
- イ. 冊子の感想や活用事例に関するアンケートを実施した結果、事業の成果として実感できたことは下記の通りである。
- ・中学生が身の回りの社会課題やNPOについて「知る」機会を得た。
 - ・先生方の指導のもと、ワークシートに書き込むなど積極的に活用され、自分にもできることがあると気づいた。
 - ・実際のアクション(自分にできることはなにかを考える、ボランティア活動をするなど)につながるきっかけになった。

(3) 会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

7号～10号と(6月、9月、12月、3月)年間4回発行した。

会員、賛助会員、サポーターズからの寄稿により自己紹介にとどまらず、日頃の活動や思い、また“さぼりが”の自主事業で行っている事業なども紹介できた。

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 新しい公共円卓会議 [新しい公共円卓会議PJ]

市と業務委託契約を締結し、「新しい公共円卓会議設立及び事務局運営事業」として実施した。同会議の運営にあたり、事務局業務を市企画経営課と連携して行った。内容は以下の通りである。

ア. 新しい公共円卓会議の設立・事務局運営に関する計画・実施・検証・処置を市の指導、協力のもとで行った。

イ. その他上記業務に関連、付随する業務

6月25日 新しい公共円卓会議設立に向けて、公募委員を募集。公募委員選考会議にて、公募委員3名を選考。会議委員メンバー17名・アドバイザー1名が決定

7月31日 第1回新しい公共円卓会議開催

10月30日 第2回新しい公共円卓会議開催

12月16日 我孫子市を視察訪問 *

12月21日 第1回提案型民営化制度 意見交換会開催 *

12月26日 第2回提案型民営化制度 意見交換会開催 *

*はこの当初の計画には入っていなかったが進行の過程で新たに計画、実施。

1月27日 第3回新しい公共円卓会議開催

3月12日 第4回新しい公共円卓会議開催

総括:

新しい公共円卓会議の運営実施にあたり、事務局としての所期の任務を遂行し、仕組みづくりに一定の前進があったことは成果として挙げられる。

1) 新しい公共の形成に向けて、多様な主体の前向きな意見交換を行う、各委員の議論が積み重なる充実した会議であった。

2) 新しい形の会議体として、企画経営課とNPOサポートちがさきの適切な役割分担のもと、持ち味を発揮した。

3) 市民と「茅ヶ崎の未来」や「新しい公共」の議論を深めるきっかけづくりとして実施した提案型民営化制度意見交換会には、参加された幅広い世代の市民の方々からご意見・ご提案もあり、有意義な意見交換会であった。

(2) 企業とNPOのマッチング [企業とNPOのマッチングP]

「NPOと企業の協働に向けた出会いと交流の場づくり」をテーマに、茅ヶ崎市協働推進事業(市民提案型)を実施。市民自治推進課、産業振興課、企画経営課と連携し、以下3つの事業をおこなった。

ア. 企業とNPOと行政の交流サロン (2回実施)

1) 交流サロンⅠ「チーム茅ヶ崎へ ここから始まる！新しい連携のカタチ」

日 時:5月24日(金)14時から17時 場所:茅ヶ崎商工会議所 4F 大会議室

・対談「NPOの思い×地域型企業の思い」

文教大学国際学部准教授 那須一貴氏と当法人代表理事 益永 律子

・事例紹介

「地域×企業×子ども 接点を広げる試み」・・・ふれジョブちがさき・さむかわ

「大学×企業 新たな価値を提案」・・・文教大学国際学部 学生

・テーブルワーク「改めて聞きたい NPOの強み・地域企業との連携に必要なこと、モノ「アイデア出し」

参加者:62名(企業14名・NPO27名・文教大学准教授、学生9名・行政9名・個人1名 他)

2) 交流サロンⅡ「チーム茅ヶ崎へ。新しい連携のカタチ 答えは足元に。ローカルファーストで人・モノの好循環」

日 時:10月11日(金)14時30分から17時 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6F コミュニティホール

・事例紹介「出会えてよかった！企業×NPO×行政」

事例Ⅰ 地域から信頼される町の書店「はせしよ」・・・長谷川書店ネスパ茅ヶ崎店

事例Ⅱ 社員が地域でビーチクリーン、どんぐりの森づくり:TOTO株式会社茅ヶ崎工場

事例Ⅲ 市民の想いと環境価値を循環させる仕組みづくり:NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク

事例Ⅳ 障がいのある子どもの理解者をふやす職場体験:ふれジョブちがさき・さむかわ

・テーブルワーク みつけよう「一緒にやりたい人・こと・会社・NPO」 地域企業との連携に、必要なこと、モノ「アイデア出し」

参加者:73名 企業24名・NPO38名・個人2名・行政9名

イ. 企業とNPOと行政のマッチングフォーラム 「チーム茅ヶ崎へ。地域の力をあわせて 今こそ、本気でローカルファースト チーム茅ヶ崎へ ここから始まる！新しい連携のカタチへ」

日 時:2014年2月7日 14時から17時 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6F コミュニティホール

・基調講演「パートナーシップ大賞の10年 協働のいろいろ」

特定非営利活動法人パートナーシップサポートセンター 代表理事 岸田 眞代 様

・茅ヶ崎市服部市長 ビデオメッセージ

・パネルディスカッション コーディネーター 益永律子 当法人代表理事

パネリスト 岸田 眞代氏、亀井 信幸氏(亀井工業ホールディングス株式会社代表取締役社長)

山崎正美(企画経営部長)

参加者:総数84名(企業40名 NPO27名 行政15名 講師1名 大学1名)

ウ. 市内企業・NPO に対するヒアリング(訪問件数60回)

茅ヶ崎市商工会議所などの協力を得て、NPO との協働に関心の高い市内企業への面談・調査を実施し、企業・NPO・行政等が茅ヶ崎市の課題と解決策に関し理解を深め、それぞれの立場で協力しあえる可能性を検討する。関係主体の相互理解を深め、茅ヶ崎らしい事業展開を目指す。

訪問件数:60回。訪問の結果次の事項が見えてきた。

総括:企業とNPOのマッチングに関する関心は大きい。

・一方で企業から NPO、NPO から企業のいずれからも相互の活動が見え難く、地域貢献的な活動をしていても連携することの難しさが課題である。

エ. 関係セクター間のネットワーク拡大

茅ヶ崎ラスカ・テナントスペースの活用の仲介

年度末になり、NPOや行政の活動PRコーナーを設ける場が駅ビル内に提供されることになった。当法人は、中間支援組織として提案団体のコーディネイトを行う。ローカルファーストの考え方の普及を目指す機会にもなり意義のある事業として次年度に継続する。

その他

行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

以下の委嘱等の協力をおこなった。

大和市市民活動補助金選考アドバイザー 実績報告会 4月25日、選考会6月3日
茅ヶ崎市地球温暖化対策推進協議会委員(年3回)
茅ヶ崎市行政改革検討委員会委員(年5回)
社会福祉法人翔の会 理事(年4回)
社会福祉法人翔の会評議員 評議員会(年4回)
NPO 法人セカンドリーグ神奈川理事 理事会(年2回)
一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ アドバイザー(特別相談会)
(財)ソロプチミスト日本財団平成24年度「社会ボランティア賞」募集に際し、高月雅子氏を推薦

・「キャンドルナイト茅ヶ崎2012」

キャンドルフォルダーとして協賛した。

法人運営

1. 神奈川県指定 NPO 法人の指定

2013年7月9日付けで神奈川県指定NPO法人となった。よって、寄附金税額控除の対象となる期間は2013年(平成25年)1月1日から2018年(平成30年)7月31日までとなる。

2. 通常総会の開催

2013 年度通常総会

日 時： 平成 25 年(2013 年) 5 月 15 日(水) 15 時から 17 時 40 分

場 所： 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数： 出席 22 名、委任状提出 14 名、合計 36 名(正会員 41 名、総数 32 名、過半数が出席)

議 事： 第 1 号議案 平成 24 年度(2012 年度)事業報告の承認

第 2 号議案 平成 24 年度(2012 年度)収支決算の承認

第 3 号議案 平成 25 年度(2013 年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第 4 号議案 平成 25 年度(2013 年度)収支予算の審議・決定

第 5 号議案 定款の変更

第 6 号議案 組織図の変更

全ての議案は原案通り、可決承認された。

3. 理事会の開催

2013 年 4 月～2014 年 3 月まで毎月第 2 水曜日に定例理事会を開催。(12 回)

2014 年 3 月 5 日に臨時理事会を開催し、総会議案に関する審議を行った。

4. 全体会の開催

会議は必要に応じて開催し情報交換を行った。

4 月 17 日(水) 総会に向けて意見交換

6 月 19 日(水) 大人の遠足(神奈川県立茅ヶ崎里山公園内「里の家」)

8 月 21 日(水) 新人スタッフ紹介、委任事業と自主事業の位置づけ等、懇親会

12 月 18 日(水) 研修報告(パートナーシップ大賞)、懇親会

2 月 19 日(水) 役員改選に伴う選挙管理委員会の発足。委員長に杉村一憲氏を選出。

3 月 19 日(水) 選挙管理委員会より選挙の公示、開票立会人の選出、懇親会

5. 事務局

事務局長、会計長、会計次長、経理担当、労務担当体制で、指定管理業務は、常勤者を中心に施設管理、事業企画・実施など窓ロスタッフの熱意と実行力により各業務は滞りなく遂行された。しかし、当初予定した人員の確保ができず常勤者など職員に負担をかける結果となった。次年度は適正な人員を確保して職員の負担を軽減する必要がある。

・常勤職員 3 名、非常勤職員 9 名、アルバイト 1 名、経理担当 1 名、印刷機サポート 2 名。

6. 印刷機サポートスタッフ（就労が困難な障がい者の支援として）キャリア支援

障がい者の就労支援施設に募集をおこなった結果、寒川の 2 福祉施設より 2 名の推薦があった。キャリアアドバイザーの行成文男氏の助言、協力のもと 2 名と契約を交わしたが、障害特性や体調不良などにより作業継続が困難となったため年度半ばで終了することになった。

以上

(名称) 特定非営利活動法人NPOサポートちがさき			
活動計算書			
2013年4月1日から2014年3月31日			
			単位:円
科 目			金 額
I.経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	126,000		
賛助会員受取会費	16,000	142,000	
2.受取寄付金			
受取寄付金	530,281		
受取自治体補助金	600,000	1,130,281	
3.事業収益			
自主事業収益	120,500		
茅ヶ崎市指定管理事業	23,697,000		
上記に付随する事業収益	2,693,629		
自治体事業推進委託負担金	2,245,000	28,756,129	
4.その他収益			
受取利息	1,770		
雑収入	0	1,770	
経常収益計			30,030,180
II.経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
給与手当	15,248,700		
法定福利費	916,018		
福利厚生費	107,224		
人件費計	16,271,942		
(2)その他経費			
売上原価	2,005,052		
事業経費	4,361,636		
業務委託費	1,176,330		
賃借・リース・保守料	1,383,900		
旅費交通費	250,000		
交流・研修費	0		
通信・運搬費	283,844		
電気・水道料	958,750		
その他経費	791,346		
その他経費計	11,210,858		
事業費計		27,482,800	
2.管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給与手当	1,260,000		
人件費計	1,260,000		
(2)その他経費			
消耗品費	604,424		
旅費交通費	88,334		
通信費	245,542		
印刷費	115,070		
その他経費	185,014		
その他経費計	1,238,384		
管理費計		2,498,384	
経常費用計			29,981,184
当期正味財産増減額			48,996
前期繰越正味財産			1,806,137
次期繰越正味財産			1,855,133

貸借対照表

2014年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I.資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,683,421		
未収入金	40,670		
立替金	14,300		
前払費用	111,762		
棚卸資産(貯蔵品)	187,695		
流動資産合計		10,037,848	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
土地・建物	0		
車両運搬具	0		
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			10,037,848
II.負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,667,244		
未払税金(消費税)	420,000		
預り金	154,831		
流動負債合計		6,242,075	
2. 固定負債			
修繕引当金	200,000		
積立・準備金	1,740,640		
固定負債合計		1,940,640	
負債合計			8,182,715
III.正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,806,137	
当期正味増減額		48,996	
正味財産合計			1,855,133
負債及び正味財産合計			10,037,848

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は先入れ先出し法によっています。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(3)消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込経理方式によっています。

